

分類	課題	対応方針	開始時期
<p>「おおさかメディカルネット for Foreigners」の周知</p>	<p>「おおさかメディカルネット for Foreigners」の周知については、デジタル媒体やSNSの周知も検討してはどうか。</p>	<p>① 医療のかかり方等動画を作成 「おおさかメディカルネット for Foreigners」の対応8言語で「日本の医療のかかり方」「感染症・熱中症対策」「海外旅行保険加入勧奨」の3動画を作成 (R7.1より順次「おおさかメディカルネット YouTubeチャンネル」で発信)</p> <p>② 韓国領事館作成の来阪韓国人観光客向け YouTubeにて「おおさかメディカルネット for Foreigners」を周知するとともに、大阪観光局 SNSとも連携予定</p>	<p>① R7年2月～ ② R7年1月～</p>
<p>外国人患者受入れ医療機関の整備・拡充</p>	<p>外国人患者の症状に合わせて適切な医療機関で受診できるよう、今後はクリニックでも外国人患者を受け入れられる体制整備が必要と考える。</p>	<p>外国人患者受入れ医療機関の裾野を広げるため、クリニックを中心に医療通訳を行うための備品の購入に要する費用の補助を行うことで、府内全体の外国人患者受入れ医療機関の拡充を図る。</p> <p>※「外国人患者受入れ医療機関」の新規登録が条件</p>	<p>R7年4月～ (予定)</p>
<p>外国人患者受入れ医療機関の未収金リスクの低減</p>	<p>外国人患者を積極的に受け入れる医療機関については、未収金のリスクがあるため、何かしら措置を講じるべきと考える。</p>	<p>【宿泊税活用事業】</p> <p>① 外国人患者受入れの障壁となる医療費未収金リスク低減のため、保険・保証サービスや研修、キャッシュレス化に係る費用を補助する。</p> <p>② 外国人観光客に対し、来阪前及び来阪時に効果的な海外旅行保険の加入勧奨を行う。</p>	<p>① R7年4月～ (予定) ② R7年上半年～ (予定)</p>
<p>外国人受入れ医療機関の地域における連携</p> <p>外国人対応にかかる初歩的な研修の実施</p>	<p>海外では医療機関・医師の相互連携体制が成り立っており、大阪府でも外国人受入れ医療機関間の地域における連携の仕組みが必要と考える。</p> <p>医療従事者が外国人対応について後ろ向きにならないようなセミナーを開催すべきと考える。</p>	<p>【宿泊税活用事業】</p> <p>「外国人患者受入れ医療コーディネーター」等の意見を取り入れた外国人患者受入れ研修を地域別で実施し、地域の外国人患者受入れ医療機関間の連携を図るとともに、職員の対応力向上を図る。</p> <p>【対象】 府内医療機関</p> <p>【開催】 府内4カ所（北部1回、中部2回、南部1回を想定）</p> <p>【内容】 実務を想定したロールプレイング研修+eラーニング動画作成</p>	<p>R7年度中に順次開催</p>